

Title	凡例
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学附属研究所斯道文庫
Publication year	1978
Jtitle	斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.15上 (1978. ) ,p.[1]- [2]
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000151-0001">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-00000151-0001</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

## 凡 例

一、本書は慶応義塾大学附属研究所斯道文庫蔵椎本文庫「夫木集緊要」、左の四部を影印したものである。

(イ) 橘守部自筆稿本

卷上中

二冊

(ロ) 橘冬照筆写本

卷上

一冊

(ハ) 橘浜子筆写本

卷上中下

合二冊

(ニ) 橘東世子筆写本

卷中

一冊

一、「夫木集緊要」は、その「大旨」の「簽凡例」に誌すように同集抄出歌に施す六種の簽を四色にて類別している。従って本影印は左の四種の記号を以って弁別することにした。

\* 印—朱簽、\* 印—藍簽、◎ 印—埴簽、○ 印—墨簽

一、附簽は凡そ一句から数句にわたるのであるが、右記号を附記する場合は各附簽の簽初の右傍又はその簽頭にのみ施し以下を省略した。

一、自筆稿本の附簽には、第一次の簽、第二次の補訂の簽が同処に重ねて施されているのがまま散見される。その際の記号は、上例に従い、同じく右傍又は簽頭に並記することにし、第一次簽は左側、第二次簽を右側とした。時に右傍上下に施さざるをえない場合には簽次に准じ上下に列記した。第一・二次簽が同色異種の場合も念のため同種記号を並記又は列記した。↓例(イ)・(ロ)参照

